

常任委員会
調査レポート

総務常任委員会（6月8・10日開催）、産業建設常任委員会（6月4日開催）がそれぞれ開かれ、所管分野に関する課題等について調査を行いました。
今号では、主な内容をピックアップし、ご紹介します。

【A】委員からの質疑
【Q】担当からの回答

保健福祉課
特定健康診査の
受診率向上へ

特定健康診査の受診率は50.1%で、国保加入者が後期高齢者医療制度へ移行したことによる対象者の減少に伴い、受診者数も減少しています。特に50代・60代の受診率低下が課題です。

特定健康診査受診率年次推移

項目	5年度	6年度	7年度
対象者数※	540人	510人	495人
受診者数	282人	266人	248人
受診率	52.2%	52.2%	50.1%

※対象者は比布町国保通年加入者



▲特定健康診査

【Q】病院に通っていることで健診を受けない方も多いが、大きな病気の発覚リスクが高まる世代に対しては、「健診は別で受ける必要がある」という呼びかけを徹底してほしい。
【A】市内病院やクリニックでの健診体制を整備し、若い年代からの習慣化と50代・60代への呼びかけを強化する。

保健福祉課
除雪サービス改正案が
示されました

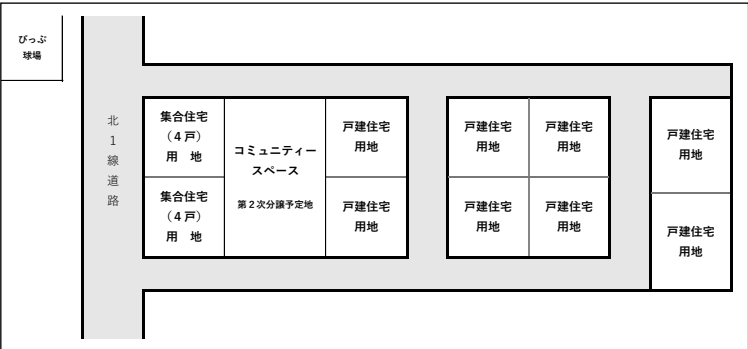
令和8年度冬期から、利用対象年齢の引き上げや、日常的に自家用車の使用が不可欠な世帯への対応、利用料金の定額制導入などの改正案が示されました。
また、各家庭の除雪カルテ作成によって、除雪範囲などを明確化する仕組みも構築されます。

【Q】除雪サービスの年齢引き上げにより、既利用者と新規の同年齢者との間に不公平感が生じないか。
【A】民生委員や社会福祉協議会と連携し、一人一人丁寧な事情を聞き取り、納得を得ながら制度移行を進める。



総務企画課
町有地を
民間企業に無償譲渡

旧新町団地跡地の町有地を「株式会社生活プロデュース」に無償譲渡。移住定住促進のため、民間の営業ノウハウを活用します。



▲旧新町団地跡地 整備イメージ図

Qなぜ売却ではなく無償譲渡なのか。

Aこれまで町が分譲地として販売してきた土地は売却が進まない事例も見受けられた。町は不動産業者ではなく、営業ノウハウやネットワークに限界がある。一方、民間業者は豊富な営業網を有しており、流動化を促進できる。

農林課

機械化による生産性向上を支援

持続可能型農業支援事業では、自動操舵装置の要望が5件と最も多く、13件の要望に対して、執行予定額4,858,500円。青果物等作付推進事業は、さつまいも苗の要望が5件と最も多く、10件の要望に対して、執行予定額3,970,400円で、予算内での対応が可能。

Q補助対象となった機械や事業内容の事例は農業者に共

有されているか。

Aプライバシー保護の観点から個別事業者の特定につながる情報は共有していないが、募集時に対象となる機械の例示方法を工夫するとともに、引き続き農協とも連携を図っていく。

商工観光課

ぴっぷスキー場の営業方針

ホームページのリニューアルが本格稼働。多言語化とスマートフォンへの対応が可能となり、外国人対応を強化します。

また、スキー場60周年記念事業として、記念グッズやイベント企画を検討中。

ナイター営業時間やリフト料金の見直し、キッチンカーの出店など、来場者の増加に向け検討を進めています。

Qナイター営業時間見直しの背景は。

Aナイター照明が老朽化し、設備更新に多額の費用を要す

るため、縮小を検討している。一方で、ナイター利用者を増やすための対策も検討しているが、費用面が課題となっている。

ぴっぷスキー場来場者数

項目	5年度	6年度	7年度
12月	5,556人	6,700人	4,993人
1月	24,853人	22,894人	23,648人
2月	17,547人	17,171人	15,734人
3月	5,314人	6,359人	6,988人
合計	53,270人	53,124人	51,363人

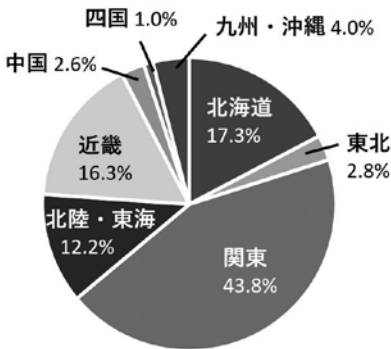
※令和8年5月28日現在

商工観光課

ふるさと納税が好調
比布の特産品を全国へ

令和7年度の寄付額は8,292万2,500円。返礼品は、お米が76・4%を占め、最も人気なのは、ゆめぴりか5kgです。

【地域別 寄付の状況】



Q返礼品の在庫状況は。

A最も人気のゆめぴりかは、農園によっては、既に令和7年度のお米の在庫がない状況。

その他の返礼品はまだ余裕があり、現在も受け付けている状況。事業所と連携し、在庫以上の受け付けは控えている。

令和8年5月末現在では、1,545万4,000円で、前年同月比154%と好調です。

令和8年10月からの新基準に対応した返礼品の充実を図ります。